

令和7年度関東東海北陸農業試験研究推進会議
野菜推進部会 現地研究会開催要領

関東東海北陸農業試験研究推進会議 野菜部会長
農研機構野菜花き研究部門 露地生産システム研究領域長
佐藤 文生

1. 趣 旨

野菜は農業総産出額の約4分の1を占める重要な農業分野であり、「みどりの食料システム戦略」においては、環境負荷の低減と持続可能な生産体系の構築が強く求められている。本年度の研究会では、施設園芸に焦点を当て、戦略への対応としてスマート農業技術の導入に関する現場での取り組み事例や最新の研究成果を共有する。各都県における研究開発の加速と、生産現場への技術普及のさらなる促進を図ることを目的とする。

2. 開催日時

令和7年11月18日（火）12:30 ～19日（水）12:00

3. 開催場所

現地視察：SATO FARM（静岡県三島市中244-1）（1日目）

AOI-PARC（静岡県沼津市西野317）（2日目）

研究会：三島市民文化会館大会議室（静岡県三島市一番町20-5）

4. 開催内容

研究会テーマ「スマート農業技術を活用した次世代施設園芸の開発と実践」

（1日目）現地視察・研究会

1）現地視察（12:30～14:30）

・三島駅集合

12:30

（バス移動・視察先資料等説明）

・SATO FARM 視察

13:00～14:00

（バス移動）

2）研究会

14:30～16:15

（1）話題提供

①「多様な栽培目標に対応できる植物重量給液制御システムの開発と実用化（トマト等）」
大石 直記（静岡県農林技術研究所）

②「スマート農業における果菜類の生育予測技術の役割と展望」

安 東 赫（農研機構野菜花き研究部門）

（2）総合討論（「技術的課題」に関する意見交換）

（3）その他

(2日目) 現地視察

・三島駅集合	8:30
(バス移動)	
・AOI-PARC	9:30~11:00
(バス移動)	
・三島駅解散	12:00

6. 参集範囲

関東東海北陸地域各都県の行政・普及・試験研究機関、農林水産省（農産局、農林水産技術会議事務局、関東農政局、北陸農政局、東海農政局）、農研機構、その他部会長が認める者

7. 連絡先

農研機構 中日本農業研究センター 研究推進部 事業化推進室

事業化推進チーム長 山内 智史

E-mail : KTH-YasaiBukai/atmark/ml.affrc.go.jp

(注) スパムメール対策のため、「@」を「/atmark/」と表示しているので、送信の際は「@」に変更してください。

TEL : 029-838-7158

8. その他

開催案内、資料等は別途事務局より案内。